

第1章 日本再興を確実にするための新首都圏広域地方計画(位置づけ)

- ①首都直下地震・地球気候変動災害(大規模水災害等)対策
 - ②ポストオリンピック・パラリンピックの日本の大発展(2050年を念頭に2025年目標で)
 - ③女性活躍社会・高齢者参画社会の実現
- ※これからの「運命の10年」が日本の命運を決める。 → 「グランドデザイン2050」を実行し、進化させる新首都圏広域地方計画

第2章 首都圏の特性と課題

第1節 首都圏の地域特性とポテンシャル

- (1) 広大な関東平野と多様な地勢、豊かな自然資源
- (2) 約4,400万人が暮らす大都市圏
- (3) 日本経済を牽引する中枢機能の集積
- (4) 先端的な学術・研究分野の集積
- (5) 多彩で魅力的な文化資源

第2節 首都圏の構造的な特性

- (1) 二重構造の人口流入と高齢化
- (2) 日本経済を牽引する首都圏
- (3) 首都圏の中での東京圏への一極集中

第3節 首都圏の現況と課題

- (1) 人口減少・少子化
- (2) 異次元の高齢化の進展
- (3) 巨大災害の切迫
- (4) 国際競争の環境と日本の地政学的な位置付けの変化
- (5) 食料、水、エネルギーの制約・環境問題
- (6) 劇的な進歩を遂げるICTの積極的な活用

第3章 首都圏の将来像

確固たる安全・安心を土台に、世界に貢献する課題解決力、先端分野・文化による創造の場としての発展を図り、同時に豊かな自然環境にも適合し、「上質」、「高効率」、「親切」、「繊細さ」でアジアの国々の道標となり、世界からのあこがれに足る共生・対流首都圏の構築を目指す。

第4章 将来像実現のための首都圏の政策の基本的考え方

第1節 重大課題への対応

- (1) 防災・減災を組み入れた成長・発展戦略
- (2) 国際競争力を維持していくための世界都市機能の強化と国際的なネットワークの充実強化
- (3) 都市と農山漁村の対流も視野に入れた異次元の超高齢社会への対応

第2節

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会もターゲットに置いた、より洗練された首都圏の構築

- (1) 社会システムの質のさらなる向上
- (2) 柔軟で高効率な生産システム等による日本再興のための取組
- (3) 若者・女性・高齢者・障害者などの社会への参加可能性を開花させる環境づくり
- (4) 田園回帰を視野に入れた農山漁村の活性化
- (5) オリンピック・パラリンピックの機会に、洗練された首都圏 と東北の復興を世界にアピール

第3節 日本の中の首都圏

- (1) 東京一極集中構造からの脱却と首都圏新構造の構築
- (2) 福島復興及び日本海・太平洋二面活用

第5章 首都圏版「運命の10年」コアプログラム

- S. 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会にターゲットをおいた首都圏・日本の躍進【優先すべき取組事項】
- A. 首都圏からはじめる確固としたデータ蓄積と高度なICTIに基づく科学的な国土管理・国土活用
- B. 巨大災害にも対応できるレジリエンス首都圏の構築
- C. 世界最大の経済集積圏としてのスーパー・メガリージョンの形成
- D. 首都圏新構造の構築
- E. 共生首都圏の形成と都市農山漁村対流